

「奈良まちかど博物館」オープン

旧奈良町南部の「なら町」はここ10年ほどで観光スポットとして賑わっている。

これに呼応して、旧奈良町北部でも町の活性化に向けた取組みが行われてきており、11月1日、奈良市が伝統的な職人芸を今に伝える店を「奈良まちかど博物館」として認定した。

認定された場所は、西口鯉節商店（花芝町）、奈良女子大記念館（北魚屋西町）、一刀彫の大林社壽園（南半田東町）、木工の坂本曲齋（雑司町）、鹿の角細工ハタリ源角堂（東包永町）、向出醤油醸造元（手貝町）、植村牧場（般若寺町）、鹿せんべいの武田商店（奈良阪町）、奈良豆比古神社資料館（同）、瓦づくりの瓦道（同）の10か所。

これらの博物館は、今までの博物館のイメージとは全く違い、店の内部をみせて地域の伝統の技や文化にふれる機会を提供するもの。地元の人達には地域を知り愛着をもってもらおう場として、また観光客には奈良のまちの新たな一面をみてもらおうと、企画された。

この博物館はお店、仕事場などを公開することから開館日・時間はまちまちで予約が必要な所が多い。

照会先：奈良市観光課

奈良市二条大路南町1-1-1

(TEL:0742-34-1111)

(上田)



一刀彫の大林社壽園の店内